

3Dプリンター用樹脂のアウトガス分析

発生ガス濃縮装置によりアウトガスの高感度分析が可能

測定法 : GC/MS

製品分野 : 製造装置・部品

分析目的 : 組成評価・同定・微量濃度評価

概要

樹脂は加熱すると有機物が発生し、使用環境によっては汚染の原因になることがあります。有機アウトガスの高感度分析には、発生ガス濃縮装置を使用したGC/MS法が有効です。ここでは3Dプリンター用樹脂のアウトガス評価事例を紹介します。3Dプリンター用樹脂には造形物の使用目的に応じて、強度、色、耐熱性などが異なる樹脂が使用されています。発生ガス濃縮装置を用いて分析を行うことで、性質の異なる樹脂について、微量なアウトガス成分や量の比較が可能です。

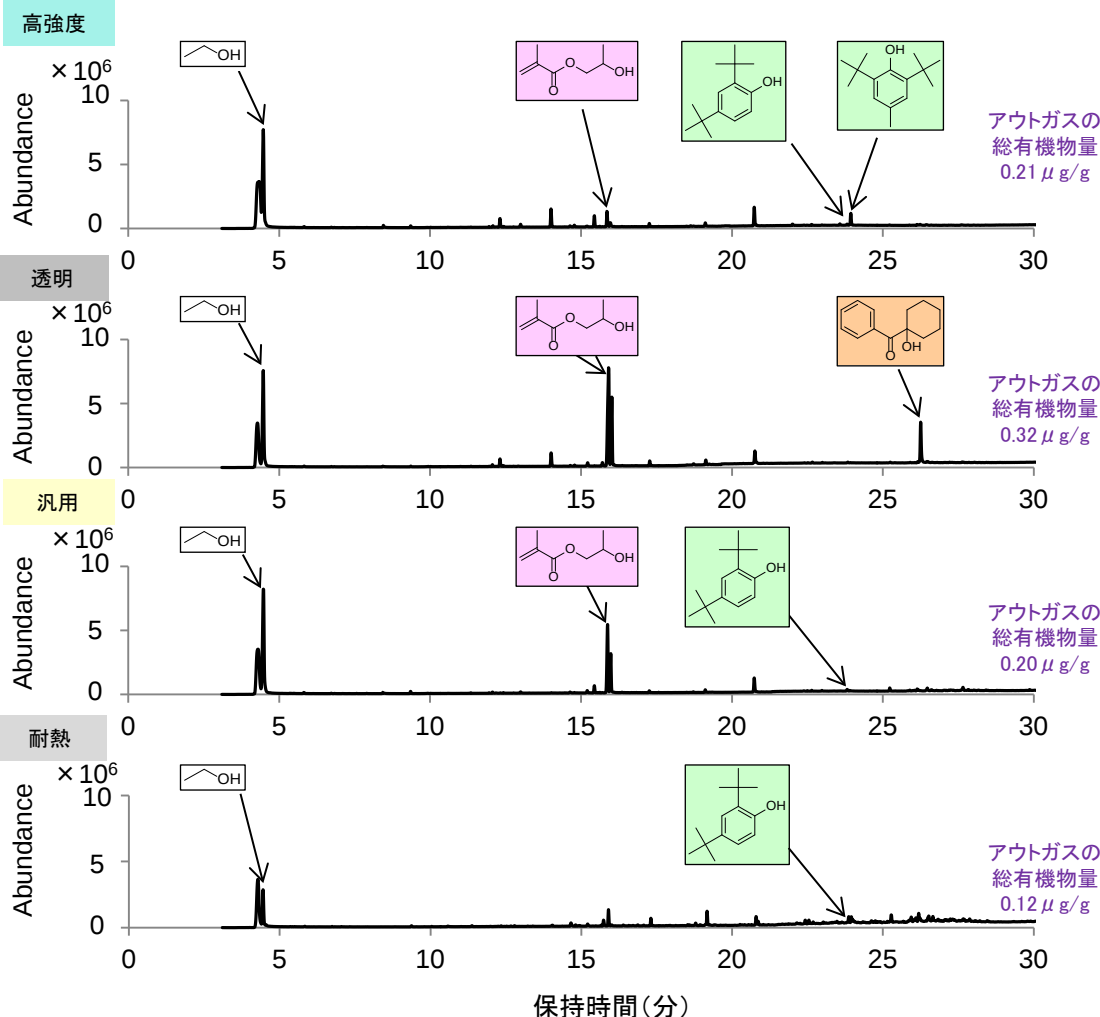
データ

100℃ 30分間加熱

残存モノマー

酸化防止剤

重合開始剤



樹脂の種類によって微量なアウトガス成分に違いがあることが分かります。
また、換算定量を行うことでアウトガス量の少ない樹脂の選定に役立ちます。

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート！

一般財団法人
MST 材料科学技術振興財団

TEL : 03-3749-2525 E-mail : info@mst.or.jp
URL : <https://www.mst.or.jp/>

